

**課題**

ジュースが7.2Lあります。このジュースを3人で等分すると、1人分は、何Lになりますか。

7.2Lを3人で「等分する」ので、わり算の式になりそうですね。

7.2÷3の計算の仕方考えましょう。



0 □ 7.2 (L)

0 1 2 3 (人)

- 既習事項**
- ①7.2Lを、LとdLに分ける方法は使えるかな。
  - ②7.2は、0.1の72こ分だから、72÷3で計算できそう。
  - ③7.2Lは72dLになるぞ。72÷3の計算がええそう。
  - ④整数のわり算みたいに、筆算は使えないかな。

**自力解決**

①【LとdLに】

1L 1L 1L 1L  
1L 1L 1L と  
1dL 1dL

7L÷3人=2Lとあまり1L。  
1L=10dLなので、10dL+2dL=12dL。  
12dL÷3人=4dL  
2L+4dLで2L4dL=2.4Lになる。  
答えは2.4Lです。

②【0.1を基に】

7.2Lは、0.1Lが72こ分なので、3人で分けると、  
72÷3=24

24は、0.1Lが24こ分なので、  
答えは2.4Lです。

③【dLに】

7.2Lは72dLと同じかさなので、3人で分けると、  
72÷3=24

24dLは2L4dLなので、  
答えは2.4Lです。

④【筆算で】

7.2を72として、

$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

本当は、小数なので…  
答えは2.4Lです。

- 指導上の留意点**
- 児童から考えが出にくい場合は、教師側が考え方を想定しておき、提示するようにしましょう。
  - 筆算の考え方については、小数点の扱いが式に表れていない場合も、考え方の一つとして取り上げ、全体での話合いの場面につなげましょう。

**集団思考**

1 それぞれの考え方を確認する。

なるほど、こういう考え方もあるんだ。

2 それぞれの考え方から、筆算の良さに気付かせる。

②と③、二つの考え方に共通していることはどんなことでしょうか。

小数の7.2を整数の72になおして計算しています。

①の考え方で、LとdLに分けるのも、整数として計算するためですね。  
7.2÷3の計算は、7.2を整数と見て、整数のときと同じように計算すると、商を求めることができます。

整数のときと計算が同じなら、筆算も使えるのかな。

- 考え方については、机間指導で全体の考えの傾向を把握しておき、代表児童に発表させましょう。
- 考え方を比較させる際には、比較の観点を絞って発問します。
- ここでは、前時までの考え方を生かして、小数を整数としてとらえ、計算している点に着目させます。

今日の問題にある7.2のように、わられる数が大きくなると、④の考え方の筆算を使うと、より正確に答えを求めることができますね。  
では、みんなで、筆算を使って計算してみましょう。



● 小数の計算でも、整数のときと同じように筆算が使えること、被除数が大きくなると、筆算が有効であることを理解させます。

### 3 小数のわり算の筆算について、手順を確認する。

● 整数のわり算の筆算と小数のわり算の筆算では、小数点の扱いだけが違うことを確認します。また、商の小数点は、被除数にそろえて、記入することを強調しましょう。

ま  
と  
め

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)